



# 自治会だより

2019  
秋号

～世代超え 気持ち繋がる  
ふるさとへ～

## 「ふるさと祭り」 準備中

事業部長 原尻文枝

ニュータウン自治会最大の行事であるふるさと祭りを、今年は10月13日(日)に行います。

近年の夏の暑さや天候の不安定さを回避し、また班長さんの負担を軽減する目的もあり、昨年からふるさと祭りは秋に開催しています。

会場は東小学校の校庭から体育館、中庭へと場所を変更しましたのでお間違えのないようお越し下さい。また雨の場合は中止ではなく、小学校の玄関ホールもお借りして行います。

昨年好評ですぐ売り切れとなった家庭菜園の朝採り野菜のマルシェや、手作り品が並ぶフリーマーケットもあります。子供のコーナーも企画がパワーアップ、また屋台の食べ物の種類を新しく増やしましたのでご期待下さい。

体育館では、お馴染みの演目に加え、初出演やニュータウンのサークルの皆さんの発表もあるのでお楽しみに。

このふるさと祭りは、現在ニュータウン住民が集まれる大事なコミュニティの一つと位置づけています。ニュータウンと共に年を重ねてきた世代と子育て真っ最中の若い世代との交流の場になることを願って、役員、班長さん達と準備を進めていきたいと思っています。



## 認知症について学ぼう／ごみゼロクリーン運動

### 認知症について学ぼう

高齢者の詐欺被害をなくすために

総務部長 増田 健

7月13日（土）ノースプラザにおいて、認知症についての講習会を開催しました。39名の参加者と講師、スタッフの総勢46名で行われました。

市役所高齢介護課の吉田様のお話では、白岡市においても高齢化が進んでおり、65歳以上の高齢化率は、10年後には20%から27%に上昇するため、認知症の人をいかに支えていくかが課題となっています。

市では、認知症を支援する多様なサービスを整備するとともに、困ったときの窓口を設けています。

久喜警察署生活安全課の馬場様からは、認知症高齢者の詐欺被害の状況についてお話がありました。埼玉県の振り

込め詐欺による昨年の被害額は26億円に達します。

白岡市においては、昨年の被害は9件、今年は半年間で12件が報告されており、「白岡市は狙われている」と言われています。

被害にあった9割以上の人が「自分は騙されない」、「その手口は知っていた」と答えています。



それにもかかわらず、どのようにに騙されるのかを劇団ダイスケが即興劇でその手口を演じてくれました。

電話でのオレオレ詐欺、銀行ATM詐欺、廃品回収詐欺を劇で紹介し、参加者コラボ体験では、参加者の3名が被害者を演じ、劇団員に騙されながら詐欺の巧妙な手口を学びました。

具体的でわかりやすく、有意義で楽しい講習会でした。ご協力を戴きました皆様、ありがとうございます。

### ごみゼロクリーン運動

環境部長 小田木文雄

5月26日のごみゼロクリーン運動は、お子様をふくめて1350名の方々のご参加をいただきました。

真夏のような暑さの中、熱中症の注意をしながらの清掃、大変お疲れさまでした。

今年から、通り・公園の雨水桝の清掃をやめましたので、

少し楽になったかと思えます。皆様のご協力のおかげで、美しいニュータウンがさらに美しくなったようです。

また、保安部の皆様、各街区の班長の皆様、大変お疲れさまでした。ありがとうございます。

昨年から、ごみゼロクリーン運動は年1回（白岡市の環境美化活動の一環）となりましたが、11月1日から12月16日を落ち葉拾いの期間としています。

この期間、皆様の家の前や庭の落ち葉の回収に、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 自主防災会からのお知らせ 報告



## ・今年はローテーション方式を採用

⇒ローテーションの中に自由時間も設定

## ・非常食など自助のメニューを充実

⇒炊き出しに換え、より実践的な非常食の試食

### 【ローテーション方式】

- ・チームごとに、順繰りに訓練メニュー（水消火器、煙ハウスなど）を実施
- ・そのメニューの一つに自由時間（記念撮影、防災クイズなど体験）を設定

### 【自由時間にできることの例】

- ・消防士との記念撮影コーナー  
⇒カメラ、スマホ等をご準備ください。
- ・防災倉庫、自主防備品等の見学
- ・防災グッズの斡旋 など

○場所 白岡東小学校

○日時 11月10日(日) 9:30集合  
(雨天中止・順延なし)

自主防・事務局 次長 堀 康幸

# 自主防災訓練に 参加しよう！

## 防災学習会に行きました

給食給水班リーダー

杉下由美子

8月7日埼玉県防災学習センター(鴻巣市)で行われた「防災学習会」と、行田浄水場に行きました。

学習会では、震度7の揺れや風速30mを全身で受ける疑似体験をしましたが、バーに掴まっていけないと体が飛ばされそう、とても立ってられない状態でした。

私たちは自然災害の少ない地域に住んでいるので、実際経験したことのない体験ができた良かったです。

行田浄水場は、白岡市を含む24市町に給水を行っています。河川水から水道水ができるまでの工程は、24時間体制で管理・操作されています。

金魚を飼育して、水質に問題ないか調べているのには驚

きました。

安心安全を考える有意義な学習会でした。



防災学習センター

## 災害時要援護者支援制度

事務局長 目次英哉

「災害時要援護者支援制度」は、ニュータウン内にお住まいの方で災害が発生したときに自分一人では避難できない方を、近隣の方々に支援していただくという制度です。

支援が必要な方は、随時登録の申込みを受け付けておりますので、自主防災会事務局(自治会二丁目集会所 電話93-5133)もしくは地域の民生・児童委員にご連絡ください。





## \* 白岡人物伝 渋谷塊一 その2 \*

特別寄稿 第四回

## 白岡人物伝

渋谷塊一と母子愛育会

しぶやかいいち  
渋谷塊一 その2白岡市文化財保護審議会委員  
板垣時夫

前回紹介しましたように、日勝村長渋谷塊一は戦前の「経済更生運動」において、日勝村を全国の模範村に導きました。

今回は、全国初の「愛育村」指定と、全国に先駆けた愛育村事業について紹介します。

「愛育村」指定とは「国民の安全な出産と健全な育児のため」に設立された恩賜財団愛育会によって実施した事業の一つです。

「国民の安全な出産と健全な育児」の具体的な取り組みとして、「安全な出産施設を整えた保健衛生に取り組む村」のモデルを作り、全国に広げるためのものでした。

全国の山村、漁村、農村な

どから指定村を選出しました。日勝村はみごと農村の代表として昭和11年（1936）に第1回愛育村に指定されました。

このことは、今日の保健センター機能を有する施設を全国に先駆けて設置したことになります。

日勝村では、まず「愛育隣保館」を建設し、産婆さんと嘱託医を常駐させました。

そして、妊婦と分娩時の保護をはじめ、母性相談、乳幼児の保育方法の指導、健康調査、相談などを実施しました。

次に愛育指導員として保健婦に村内を巡回させ、お嫁さんが妊娠している家に行つては「お嫁さんに無理をさせな

いように」「栄養のある食事を」などと舅姑に対しての指導をしました。

また、農繁期には臨時の託児所を開き、母親の負担を軽くするとともに、乳幼児の健康保持にも力を注ぎました。

このような活動が報道され、全国から視察団が訪れるようになりました。

現在でも、白岡市の母子愛育会の活動は高く評価され、平成24年には、全国大会で総裁賞を受賞しています。平成28年2月には、母子愛育会総裁の秋篠宮紀子殿下が白岡市母子愛育会活動を訪問されました。

余談になりますが、このときの愛育事業の説明役を光栄にも筆者が務めさせていただきました。

その後、渋谷塊一は昭和17年に日勝村長を辞めると、翌年には川越市長に選出され昭

和20年まで在職しました。

戦後は生家が製茶業を営んでいたこともあり埼玉県茶業振興会長などを歴任し、県東部の茶業の振興と狭山茶の振興にも尽力しています。

昭和41年には勲五等瑞宝章を受賞、同年には名誉町民に推挙されました。

昭和46年に71歳の生涯を閉じ、町民葬が菁莪小学校で執り行われました。



(写真：愛育隣保館)

## シベリア鉄道膝栗毛 9,298 キロ列車の旅 (1)

## シベリア鉄道膝栗毛

## 九二九八キロ 列車の旅(1)

植木育雄

「アメリカ大陸横断鉄道の旅」お読みいただいた方に礼申し上げます。

今度は「シベリア鉄道の旅」に出掛けてきました。ご覧ください。

頃は2019年5月14日(火)。成田空港からウラジオストクへS7航空に搭乗しました。

実はロシア旅行の専門会社へ2ヶ月前から接触し、航空券・ビザなどを依頼。1ルーブル＝2.14円でルーブル現金も国内にてネットで用意し、10泊11日(内車中7泊8日)の旅がスタートです。

## 不安と緊張の旅立ち

機内ほぼ満員の乗客は殆どロシア人。機内食は乾いたパンのサンドイッチとジュースだけ。

アルコールサービス無し。この旅、ガイドもいなければ添乗員もいない。言葉は通じない、文字もアルファベットじゃなくてキリル文字、嘗ては鉄のカーテンだった国。しかも、連れは頼りにならない上、おもしろくもない弟。極度の不安と緊張の中、どうとでもなれとばかりに、ウラジオストク着陸、続いて入国です。

ところが搭乗ブリッジを歩いていると、後方から日本語、その若者2人連れに聞けば、

露国留学経験あり。日常会話OKと、しかも我々の今宵宿泊のホテルを知ってるし、彼らの民泊先も近所だとのこと。「一緒にしましょう」との有り難い申し出。SIMカードも彼らと一緒に入手し、バスでウラジオストク駅まで約1時間掛かって向かったのです。空港で客待ちのタクシーは殆どプリウス。駅からホテルへの途中にあったスーパード、彼らに倣いロシア風の総菜とビールをゲットしホテルへ夜の9時頃チェックイン。自室居酒屋の開店となりました。

## ウラジオストク街歩きと

## 九二九八キロの旅列車発車

5月15日(水)。曇り空。ウラジオストクは緯度的には札幌と同じなので寒くはない。札幌では広島と同じ、なのに時差は日本よりも1時間早い。今晚のシベリア鉄道モスク

ワ行き列車のウラジオストク発車時刻は21時52分。ホテルに荷物を預けて街歩きに出発。日本から二時間半のヨーロッパのキャッチフレーズの通り、古風な欧風の街並み。



ウラジオストク駅

ウラジオストクはかつてソ連太平洋艦隊の母港だった一大都市であり。ソ連崩壊までは外国人立入り禁止の都市だった。当然シベリア鉄道も始発のウ

## シベリア鉄道膝栗毛 9,298 キロ列車の旅 (1)

ラジオストックからは乗車で  
きず、当時の上陸地ナホトカ  
から連絡列車に乗車し、途中  
で列車を乗換えたと宮脇俊三  
の書。ソ連崩壊後の今では、  
市街一望の鷹の巣展望台から  
港の俯瞰写真を撮っても、軍  
艦を栈橋から間近に撮影して  
もミサイルを撮っても軍人や  
警官やKGBさえ何も言わな  
い。



鷹の巣展望台

ここでも中国人と韓国人の  
観光客が平和そうにあふれ、  
土産物屋には日本語も散見。  
街歩きしているとやけに横断  
歩道の青信号時間が短い、20

秒。だから、青信号途中では  
渡りきれない。渡りきるには  
信号待ちしてスタートする必  
要アリ。

でも、多くの運転手諸氏は  
渡りきるのを待ってくれる。  
時間つぶしにエレクトーチカ  
といわれる近郊電車に乗る。



エレクトーチカ

行き先は昨日着いたウラジオ  
ストック空港へ往復する。エ  
アポートエクスプレスと銘打  
つも、4両編成で1日わずか  
5往復。乗車前、駅へ入場す  
るのに、手荷物検査を要する。  
スーパールのレシートの様な切

符を買って乗車。

到着した空港駅では乗客の  
最後尾が全員改札出口を通過  
する迄、後をつけてくる制服  
おばちゃんがいる。

空港ビルに入るのに、再度  
手荷物検査。だが、昼間の空  
港は昨夜と違い、人も多く、  
多くの売店が開き明るい感じ  
がした。

夜となり、駅に発車約2時  
間前に行くと、また空港のよ  
うな手荷物検査があつて待合  
室に入室。だがやることもな  
い。待合室ベンチの対面に、  
酔っぱらいが携帯電話でどこ  
かに文句を言っている様子、  
こちらに飛び火しないか恐れ  
つつ、今夜から4泊5日の宿  
となるノボシビルスク行き第  
7列車をひたすら待つ。その  
間にイルクーツクやハバロフ  
スク行きの列車が先発してい  
く。

本来ならば6泊7日でモス

クワ直行のロシア号に乗りた  
いとこらだが、ロシア号は隔  
日運転で、今日は残念ながら  
運休日。今回のプランニング  
での難関は週4便の成田→ウ  
ラジオストックの航空便と、  
隔日運転されるシベリア鉄道  
ロシア号のスケジュール、そ  
れに二等寝台4人部屋の下段  
寝台2名分を同じ個室で確保  
することだった。

結局第一希望のロシア号は  
下段寝台2席が確保できず、  
代案の2本の列車を乗り継ぐ  
形となったのです。

発車1時間前に待合室の電  
光掲示板の発車ホーム案内が  
「？」表示から「3」となりホー  
ムに降りる。

乗車口に立つ女性車掌にパ  
スポートを見せ彼女の持つリ  
ストと照合して乗車。荷物整  
理に手こずる内に列車は音も  
なく発車。九二九八キロの旅  
がスタート。

## シベリア鉄道膝栗毛 9,298 キロ列車の旅 (1)

4人部屋の二等寝台に同室者はいない。ようやく落ち着いたところで持ち込みのビールで乾杯、銘柄は「アムール」、ペットボトル入りなのがミソ。ところがベッドや枕のシーツセットと歯磨きセット、車内用スリッパを持って現れた車掌さん、「車内禁酒だ」と制服の腕章を示しながら厳しく言ってる様子（ロシア語が解らない）。また「今日のところは見逃します」とも優しく言うてる様子。

日露友好の為、事を荒げたくないで静かに持ち込んだ分だけ頂いて店仕舞い。すると思いがけず食堂車から翌朝食用のパンとサラミ等がはいったボックスが届く。質素ながら美味しそう。車内は密閉二重窓で、室温20度に保たれ、半袖Tシャツに着替える。

ベッド幅は55〜60cmでやや狭いものの充分快適。寝台にシ

ーツをセルフサービスでセツトの最中、頭をぶつけてこぼ作る。痛さ我慢して就寝・・・

「次号につづく」

(シベリア鉄道地図)



ウラジオストック中央広場



二等寝台

### 編集後記

昭和の三十年代に普及したテレビと同じように一九九〇年代に登場したパソコンは、仕事場に画期的な変化をもたらした。

長年勤めた、お金を作る現場でも、先輩デザイナーは、図案を描くのに紙と鉛筆を基本にしていた。今は、モニターの前に座ってペンタブで描く。ただ、素早く綺麗に出来上がったも、図案としての優劣は別な話。

自治会だよりを編集しながら、パソコンの便利さを感じ、また手書きの時代を懐かしく思う。

広報部 中村